
中国情報 (WTO/FTA・貿易・安全・その他)

2009年3月12日号

- ◎ 2009年2月における中国の卸売市場の生鮮農産物取引情勢 (中国農業部月報)
【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年における中国の卸売市場の生鮮農産物取引情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

農業部農産物卸売市場情報ネットの観測によると、2009年2月の全国の生鮮農産物卸売価格指数は158.38 (2000年=100) で、全月に比べ1.34ポイント上昇した。重点観測点として50卸売市場58品目の総取引量は、前月比17.40%増の201万トンとなった。

1 畜産物価格は小幅変動、取引量は増加

1 キログラム当たりの価格は、豚肉が前月比4.2%安の17.91元、丸どり及び鶏卵が2.1%安の11.24元及び1.6%安の6.07元となった。羊肉 (注：中国では、一般に綿羊とヤギを区別せずに「羊」と総称する。同様に、「羊肉」は綿羊肉とヤギ肉の総称) 及び牛肉は、それぞれ1.9%高の29.70元及び1.3%高の29.14元となった。重点観測対象である以上5種の畜産物取引量 (50重点卸売市場取引合計量。以下同じ) は、16.6%増の6.32万トンとなった。

2 淡水魚価格は上昇、海水魚価格は下落、魚類の取引量は増加

コクレン (花鱸)、フナ及びソウギョの卸売価格は、それぞれ1kg当たり6.92元、10.44元及び11.38元で、前月比では12.0%高、2.1%高及び1.6%高となった。フウセイ及び大

タチウオは1.6%安の30.46元及び0.9%安の14.81元となった。重点観測対象である以上7種の魚類取引量は、42.7%増の6.41万トンとなった。

3 野菜価格は大きく変動、取引量は増加

重点観測対象である26種の野菜の平均価格は、前月比2.0%安の1kg当たり2.82元となった。うち菜の花、ニラ及びピーマンは25.7%安、19.8%安及び16.2%安に、冬瓜、レタス及びカボチャは36.0%高、21.6%高及び20.9%高となった。26種の野菜取引量は、26.0%増の147.37万トンとなった。

4 果物価格は全体に小幅上昇、取引量は1割減

重点観測対象である11種の果物平均価格は、前月比3.2%高の1kg当たり3.46元となった。うちスイカ、鴨梨（ヤーリー：皮の色が淡黄色で茶褐色の斑点があり、多汁で甘い卵形の中国原産の梨。日本では、岡山市西大寺地区で栽培されている）及び富士リンゴは16.7%高、5.9%高及び0.8%高となった。また、ネーブル、パイナップル及びバナナは7.7%安、2.9%安及び2.3%安となった。11種の果物の取引量は、10.0%減の36.56万トンとなった。